

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	49
学校名	富山県立富山高等支援学校

学校の現状と課題	本校は、軽度知的障害のある生徒を対象とし、卒業後の一般企業等への就職など社会的・職業的自立を目的とした特別支援学校である。これまで卒業後の自立した生活につながる「働く力」や「生活する力」の育成に取り組んできた。就労に向けた技術や就労に対する意識の向上が見られ、自分にできることや自分に適した職業を考えるための自己理解も深まってきている。しかし、就職し、就労を継続していく際に必要となる体調・時間・感情・モチベーション等を自分で律し、管理するための自己管理能力の向上も在学中の大きな課題と思われる。	
テーマ(特色)	社会的・職業的自立を目指して ー夢の実現に向けた自己理解と自己管理能力の育成ー	
設定した「テーマ」の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習で使用している到達度チェック表を基に、学校生活全般において活用できるチェック表を新たに作成し、各クラスで使用した。生徒一人一人の夢とその実現に向け、到達段階を作業担当者と担任やその他の教員が共有・連携して実践できるようにしたことで、夢の実現のための目標が明確になり、より多くの教員が生徒の目標を意識して指導を行うことができた。</li> <li>・働くことにつながる基本的な生活習慣の確立等を目指して、保健強化週間を毎月設定したり、生徒会執行部が全校で取り組む4つのルールを提案し、そのルールを守るようになるための取組を生徒会の各委員会で رفتりした。委員会内で生徒同士が活発に意見交換をし、多くの生徒が取り組みの中で役割を担うことができ、これまで以上に社会人としてのルールやマナーについて、意識が向上したと思われる。</li> <li>・外部の専門家から作業学習に関する助言や、生徒の自己管理能力を育てる指導の工夫点等についての講話を聴くことで、各教員が指導内容や方法を振り返り、改善することができた。</li> </ul>	
実施内容(具体的に記入する)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「夢の実現」のための課題を見極め、自己理解を深めるためのチェックリストの活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業担当者だけでなく、より多くの教員が「夢の実現」に向けて関わられるよう、作業学習で使用していた到達度チェック表を基に、学校生活全般において活用できるチェック表を新たに作成した。作業面、生活面での課題を明確にし、誰もが確認できるよう教室に掲示した。実態把握や目標設定、達成度評価をする場を作業学習、学級活動でそれぞれ年3回設けた。</li> </ul> </li> <li>②自己管理能力の育成をねらった保健指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立等を目指して、体調管理のための手洗いや睡眠などをテーマに挙げた保健強化週間を毎月設定したり、その内容を保護者向けに配信して家庭との連携を図ったりした。</li> </ul> </li> <li>③ルールやマナーを守り、社会人として自立を目指す生徒の育成を目的とした生徒会活動の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会執行部が提案した4つのルール(挨拶をしよう、身だしなみを整えよう、時間を守ろう、言葉遣いに気を付けよう)を4つの委員会で分担し、ルールを守ろうとする意識の向上を目指した活動を企画し取り組んだ。</li> </ul> </li> <li>④外部の専門家(県内・県外)による研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業学習において、環境、福祉、食品の各分野の専門的な知識・技能を学ぶ研修会を実施した。</li> <li>・生徒の自己理解を深める支援や自己管理能力を高める支援のための効果的なカリキュラムの工夫について学ぶ研修会を実施した。</li> </ul> </li> </ol>	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2種の到達度チェック表を基に、自分の今の課題を明確にし、教師と相談しながら具体的な目標を設定して作業学習や学級で達成に向けて取り組んだ。多くの教師から目標や課題について言葉を掛けられ、目標を達成し、努力を認められることで自己肯定感が高まり、夢の実現に向け頑張る姿が見られた。</li> <li>・社会人として必要な挨拶や服装、時間や言葉遣いなどのルールやマナーについて、委員会活動を通して友達と共に考え、周りに呼びかけることで意識が高まった。</li> </ul>	
対象者(学年・人数など)	全教職員対象	
実施実績	4月	第1回研究推進委員会(研究方針の確認)
	5月	
	6月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	7月	
	8月	第2回研究推進委員会(研究方針の確認)
	9月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	10月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	11月	県内外部講師を招いての社会的・職業的自立を目指した指導のあり方に関する研修会 県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	12月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	1月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	2月	県内外部講師を招いての研修会(作業学習について)
	3月	第3回研究推進委員会(研究のまとめ)